

【Google Glass】 Google

①要約：

このアイデアは、Google グラスを業務用途に特化して活用するものであり、眼鏡のヒンジ部分にディスプレイを搭載することで、画像や情報を重畳して表示することができるようになります。主に医療や製造業などの業務に役立つ可能性があります。

②目的：

このアイデアの目的は、Google グラスを業務用途に特化することで、作業の効率化や情報のリアルタイム表示など、業務における様々な課題を解決することです。特に、医療や製造業などでの作業効率化や情報共有を促進することが重要です。

③新規性：

このアイデアは、従来の眼鏡やデバイスとは異なる新しい利用法を提案しています。眼鏡のヒンジ部分にディスプレイを組み込むことで、情報を重畳表示する機能は新規性があり、業務用途において画期的な解決策となる可能性があります。

④独自性：

このアイデアは、Google グラスを業務用途に特化して活用する点が独自性を持っています。眼鏡のヒンジ部分に特殊なプリズムを配置することで、重畳表示機能を実現することは、他社製品とは区別される独自性を持ちます。

⑤経済価値：

このアイデアには、医療や製造業などの業務用途での効率化や情報共有を促進する経済的な価値があります。作業効率の向上や情報のリアルタイム表示により、生産性向上やコスト削減に貢献することが期待されます。また、特に医療分野では、カルテ入力や診察時の情報提供がスムーズになり、医療の質の向上に寄与することが見込まれます。